

さかい学<sup>まなぶ</sup> ①

にっぽん考

大切なのは、  
実現すること。

## 「骨太の方針」に記される意味

～ さかい学が関わった提言 ～

今年の「骨太の方針」は6月16日に、経済財政諮問会議での答申を経て閣議決定されました。今年の骨太の方針の正式名称は「経済財政運営と改革の基本方針2023 加速する新しい資本主義 ～未来への投資の拡大と構造的賃上げの実現～」と言います。

## ■「骨太の方針」の歴史

2001年に小泉政権下でスタートしました。毎年6月頃に閣議決定されるもので、政権の重要課題や政策の基本的方向性を示すものです。当時は、不良債権の抜本的処理や国債の年間発行額30兆円以下というような目標でしたが、安倍政権下ではアベノミクス「三本の矢」や今後10年の平均成長率目標などがこの中で示されてきました。現在は表題に入っているように新しい資本主義、人への投資、賃上げなどが目玉になっています。

## ■「骨太」に書き込まれる意味

私たち与党の国会議員は、この骨太の方針の中に自分たちが実現させたい政策を何とか押し込みたいと、4、5月には議員同士で集まり、提言を政府や官邸に持ち込み、アピールします。

書き込まれるということは、現在の政府の方向性と同じことの証明となり、役所側も対応していくことになるからです。そしてそこに記述があることを一つの根拠に、検討会、審議会などを政府内にセットすることができ、法改正にもつながっていきます。ですので自民党では様々な分野の課題に対して、各

省庁それぞれの政策の取りまとめを、役所も交えて行い、提言づくりをしていくのです。

## ■私に関わった提言

今回の骨太の方針にどのように記載されているか、いくつかご紹介したいと思います。

&lt;GREEN EXPO2027国際園芸博覧会（花博）&gt;

「未来社会の実験場である2025年大阪・関西万博を始め、2027年国際園芸博覧会など、大規模国際大会等に向け着実な準備を進める」

わずかに名前が入っているだけですが、これが大切なのです。「大規模国際大会等」ではなく、単独で名前が出ているということが力の入れ具合を示すわけです。

## &lt;休眠預金の活用&gt;

私が議員連盟の事務局長として奔走し、先の国会でやっと閉会日に改正案が成立したのですが、今年は骨太に「休眠預金」と記述された箇所が2か所ありました。

一つはインパクト投資の分野です。社会的起業家（インパクトスタートアップ）への支援を強化し、社会的起業家のエコシステムの整備を図るとし、その具体的な方法の一つとして

「休眠預金等活用制度における出資の実現に向けた取組を進める」

とあります。

もう一カ所はソーシャルセクターの発展に関する部分です。

前 内閣官房副長官

自民党 横浜国際園芸博覧会推進特命委員長

衆議院議員 さかい学 事務所

〒244-0003 神奈川県横浜市戸塚区戸塚町142 鈴木ビル3階  
☎ 045-863-0900 FAX 045-865-6700 info@sakaimanabu.com

www.sakaimanabu.com



「寄附やベンチャー・フィランソフイーを促進するなど公的役割を担う民間主体への支援を強化し、ソーシャルセクターの発展を図る。(中略)伴走支援の充実等の休眠預金等活用法施行5年後の見直しに即してその円滑な実施に取り組むとともに、社会経済情勢の変化に応じ機動的な休眠預金の活用を図る」

実は、今回の休眠預金の法改正に際し、内容を後退させてこの金額を他の用途に使うべきという考えの議員が出てくることも想定して、政府の方針だということを明確にすることで対抗しようと、何年か前から骨太に記載をお願いしていたのでした。今は、一つの手法としてかなり期待されるようになったと実感しています。

### ＜情報通信インフラ＞

座長として岸田総理にも直接提言を手渡し、昨今の重要性も反映して、かなり書き込んでもらったものと思います。

「デジタル実装の前提となる5G、光ファイバ等のデジタル基盤について全国津々浦々で整備を推進するとともに、デジタル人材育成を推進し、改訂整備計画に基づき、GIGAスクール構想に資する通信環境の年度内の全学校整備、非地上系ネットワークの展開、データセンター地方拠点や海底ケーブル等の整備、Beyond5Gの研究開発等を進める」

総理が進める「デジタル田園都市国家」を実現するにも、これら情報通信インフラが整備され機能することが前提となっています。項目名しか上がっていませんが、その奥ではとてつもない予算や人が動いているのです。

### ＜身寄りのない一人暮らし＞

また、先月の小紙にも取り上げた「支援をお願いできる方がいない一人暮らしの方」に関する課題については、共生・共助社会づくりの中で以下のように記述されました。

「さらに、認知症の人や家族に対する支援、障害者の地域生活の支援、生涯学習の推進、就労支援、情報コミュニケーション等に対する支援、官民協働の支援体制構築等困難な問題を抱える女性支援の強化、労働者協同組合の活用促進、成年後見制度を含めた総合的な権利擁護、…(中略)…の促進等を図る」

包括的社会実現の取り組みの中の項目として、そのものズバリの書き方ではありませんが、この記述で今後役所の中で検討会や勉強会を立ち上げる根拠には十分なりうる、という現場の課長の認識を確認し、今回は了解し

ました。

質問自体が5/24で直前だったこと、調査会や特命委員会などの政策審議会を通った提言ではなく、私個人の質問と総理答弁が根拠だということなどもあり、今回は強く訂正は求めませんでした。しかし、厚労省ではきちっと検討を進めてもらいたいと思います。

### ＜防衛力の財源＞

当初より党の検討特命委員会の提言を待ってそれを最大限反映させたものです。

「防衛力の抜本的強化等の財源については『防衛力整備計画』等に沿って、機動的・弾力的な対応を含め確保する。その際、各年度の予算編成過程において、歳出改革の継続、税収等の動向や歳出の不用等の結果生じる決算剰余金の活用、外国為替資金特別会計からの繰入れ等により4.6兆円が確保された税外収入の更なる確保に努める。『令和6年以降の適切な時期とする』とされている税制措置の開始時期については、令和7年以降の然るべき時期とすることも可能となるよう5兆円強の確保を目指す税外収入の上積みやその他の追加収入を含めた取組の状況を踏まえ、柔軟に判断する」

まだ財源として明確にいくら出せるという費目は出てきていないのが現実ですが、意気込みと方向性を示すものとなったとは思いますが、しかし、この作業はやはり国民に理解をいただくためにも、根を詰めてやる必要があると思いますし、必要に応じて説明できるようにもおかねばならないと思います。

### ■ 政策実現のために奔走する議員

政府に提言する前には、必ず自民党政策審議会を通さなくてはならず、私自身政審の役員として、会議毎に複数の提言案を扱って来ました。提案する議員も、政策実現のために必死に活動をします。

「骨太の方針って、よく耳にするけれど、政治の中でどういう位置づけなのかよくわからない」と言われることがあります。中々、皆さんにお伝えすることがない分野なのでこの機会にご紹介させていただきました。

さかい学の活動を発信中！



Twitter



Facebook



Instagram



さかい学チャンネル